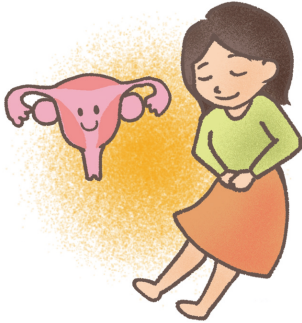


子宮頸がん予防 HPVワクチンについて

TOPICS



子宮頸がんにならないように予防することができるのです。

実際に、HPVワクチン接種を推し進めたオーストラリアや北欧などでは子宮頸がん患者の数が明らかに減っています。オーストラリアでは子宮頸がんを撲滅出来るところまで近づいています。ところが、日本では現在でも、毎年 約1万人の女性が子宮頸がんになり、約3,000人の女性が子宮頸がんで命を落としています。

日本では、HPVワクチン接種後の副反応のセンセーショナルな報道もあり、2013年から2022年までHPVワクチン接種の積極的接種勧奨が差し控えられてしまいました。その間にHPVワクチンが安全であることが報告されています。

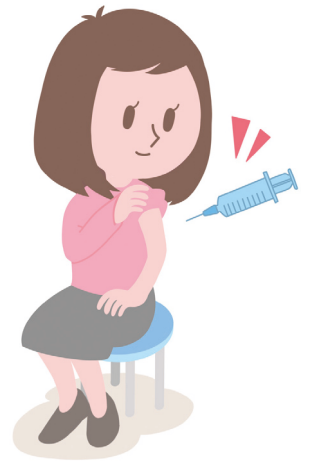
HPVワクチン接種後に慢性の痛みや歩行等の運動の障害などの症状が生じるのはHPVワクチン接種とは関連がないことが示されています。

HPVワクチン定期接種は、小学校6年生（12歳）～高校1年生（16歳）の女子が対象であり（もちろん無料です）、15歳の誕生日の前日までにHPVワクチンの1回目の接種を行えば、2回接種で完了できます。当院では小児科で、このHPVワクチン接種を受け付けていますので、是非ご活用ください。

追記

女性の子宮頸がんの撲滅のためには、男性もHPVワクチンを接種することが重要なのです（オーストラリアでは女子も男子もHPVワクチンの定期接種を受けています）。日本では、男性への接種は、9歳以上で承認されています。男性へのHPVワクチン接種することで、中咽頭がんという喉のがんの予防になると報告されています。

婦人科 加藤 一喜



とうめい厚木クリニック

〒243-0034厚木市船子237

TEL.046-229-3377 FAX.046-229-1935

<https://www.tomei.or.jp/clinic/>

予約・お問合せ電話番号

☎ 046-229-1950